

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス福の木		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 25日 ～ 2025年 4月 10日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24名	(回答者数) 13名
○従業者評価実施期間	2025年 3月 25日 ～ 2025年 4月 10日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者様やご本人様が安心して過ごせる場所であると考えてくださっている。	コミュニケーションを大切にし、日々の少しの変化も見逃さないよう意識している。	定期的に写真などをお渡しして日頃の様子をお伝えしているが、SNS等を活用し、今まで以上に普段の様子をお伝えできる環境づくりを検討していく。
2	支援内容について一定の評価をしていただいている。	個別支援計画書を基にお子様一人ひとり、支援内容に沿った対応を心がけています。 活動については、活動内容が固定化されないように、創作活動、SSTなど週によって活動内容を変更するようにしています。	コロナ禍以降、課外活動が充実していないため、今後は課外活動の充実を図ってきたい。
3	保護者様と綿密な情報共有を行っている。	送迎時や連絡帳を通して些細なことでも情報共有を行うようにしている。	保護者様と面談時のように、じっくりお話しできる機会を増やせる取り組みの検討。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スタッフ全員参加のミーティング、会議が困難である。	スタッフの勤務時間が異なるため、全員参加で行うことが難しい。	スタッフ全員が確実に同じ情報を共有できるツールの確立を検討していく。
2	地域との関りについて。	地域住民と関りを築きたいが、感染症等を考慮するとなかなか交流をもつことが難しい。	災害時など、地域と連携が必要な場面もあるため、管理者や法人代表のみ地域の行事に参加するなど検討していく必要がある。
3	関係機関との関りについて。	一部の関係機関とは情報共有など行っているが、その他については、一切関りをもつ機会がなく連携がとれていない。	事業所間で連携をとることは難しいと考えるため、行政が主体となった会議の開催などを行ってほしい。